

大学改革の1年

一次世紀に向けた広島大学の改革



「豊かな人間性を培う教育」
（マルチメディアフロアー）
（西図書館）

広島大学

◎ 21世紀への将来構

赤字は、最速1年における抜粋・実施予定を示す
を示す

- ☆ 次世紀に向けた広島大学のさらなる改革
 - 21世紀の広島大学像マスタープランの策定
 - 独立行政法人化問題についての全学説明会開催

◎ 教育改革への取

- ☆ 教養的教育の充実
 - 教養的教育のさらなる充実
 - 教養的教育の再検討
- ☆ 出口（就職）問題からみた学部教育改革
 - 学生の流動化（転学部の
 - アドミッション・ポリシーの明確化
 - フェニックス入学制度の導入
 - AO入試の導入
 - 成績評価基準の明示と厳格化
 - 各学部の理念のもとでの教育
 - 学生のための個別相談（ピア・サポート・システムの導入）
- ☆ 量的・質的充実を目指す大学院改革
 - 大学院講座化の実施（理学研究科、文学研究科、教育学研究科、先端物質科学研究科、工学研究科）
 - 教育系学部・大学院の統合再編
 - 社会人再教育のための社会科学研究科マネジメント専攻（独立専攻）の設置
 - マスタープランに基づき
- ☆ 教官の意識改革
 - 教養的教育改革の全学研究
 - 学長の各部局巡りの継続
 - 教員研修会を体系的に実施
- ☆ 就職活動支援体制の強化
 - 企業向け「広島大学紹介
 - 学生就職センター（学内
 - インターンシップの全学
 - 「厚生課」を「就職課」に改組

◎ 自己点検・評価

- ☆ 『広島大学白書』刊
 - 1-理念・目標-
 - 2-教
 - 4-教員組織-
 - 5-これまでの自己点検・評価活動の点検評価-
- ☆ 外部評価の実施（8年
- ☆ 学生による授業評価の実
- ☆ 新たな評価システムの構築（学内評価委員会の設置）

◎ 組織運営の活

☆ 「大学計画委員会」の活性化

☆ 管理・運営体制の刷新の設置

- 評議会等の活性化のため
- 35ある全学の各種委員直し
- 評議会構成員の見直しの部会設置
- 学長補佐体制の整備員を10の委員会に整理統合

- 審議決定権を有する
- 運営諮問会議の設置
- 教育研究基盤校費

☆ 大学教員の選取的

☆ 事務機構改革「全学任期制の導入・実施

- 事務一元化、集中化
- 事務職員の削減に対する事務機構の見直し」の実施
- 全学的な事務組織の抜

事務減量化の推進
するための全学総定員管理と定員再配分
本格的な統合再編

☆ 事務管理運営改善

☆ 独立行政法人化事務検討委員会の設置

☆ 財団法人「広島大学調査検討委員会の設置

◎ 開かれた大学づくり

☆ 情報化社会に対応する

☆ 地域との連携による情報メディア教育研究センターの設置

☆ 地域企業との共同公開講座（出前講座）の拡充

（地域共同研究センター）の研究の推進

☆ 研究成果の移転の放射光科学研究センター、ナノデバイス・システム

☆ 高度先進医療機関として推進（広島大学方式技術移転の構築）

☆ 広島県教育委員会と地域貢献を果たす医学部附属病院の病棟改築

☆ 国際化の推進との共同研究の実施（教育学部）

- 教育開発国際協力研究センターの設置
- ユネスコ・アジア太平洋地域教育開発計画（APEID）への参画
- 外国人留学生受入れ研究センターの設置
- 事務職員員の海外派遣7名（短期交換留学プログラムの推進等）

☆ 情報化の推進

- 学生データオンライン
- 高速キャンパス情報

☆ 大学の知的資源をネットワークの構築

- 大学情報サービス室
- ネットワークの整備
- キャンパスセキュリティ
- パーチャル・ユニ

☆ 本学の「セールス」を活かした学外への情報提供

- 「セールス」の設置
- 大学情報室の設置

☆ 東千田「アンテナポイント」の策定

ヨップの設置

広島大学の理念

1. 平和を希求する精神
2. 新たなる知の創造
3. 豊かな人間性を培
4. 地域社会・国際社会との共存
5. 絶えざる自己変革

平成7年

本学の将来計画の策定に当た

1. 学部教育と大学院教育との相対的に新しい時代に対応した大学院の整備
 2. 充実した実学を含む学部教育の抜本的改革
 3. 総合大学をめざして、学部・大学院教育研究の活性化及び専門深化を
- 社会発信機能を開拓・発展させる。
開かれた大学を実現するため、大学・国際社会とのネットワークを

平成10年
部局長

っての基本的な考え方